

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2021年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会の申し合わせ事項によって行う。

2 競技場の使用について

- (1) 練習、ウォーミングアップはメイン競技場・補助競技場を使用し、投てき練習は投てき場で行う。使用可能な時間や場所、種目等は公開練習要項の記載事項および競技役員の指示により行う。
- (2) メイン競技場並びに補助競技場は全天候舗装のためスパイクの長さは9mm（走高跳は12mm）以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の規定に適合するように作られていなければならない。また、スパイクの数は11本以内とする。（競技規則TR5.3/TR5.4/TR5.5/TR5.6参照）
- (3) 更衣は、補助競技場出口付近および球技場に設置する男女更衣室を使用する。貴重品は各自で管理する。
- (4) 補助競技場にはブロック別の控え場所を割り当てる。
- (5) 医務室（救護室）は本競技場内1階に設置する。また、補助競技場にも救護所を設置する。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は競技場第4ゲート外側付近に設ける。なお、棒高跳は予選・決勝ともに競技場所で招集を行う。
- (2) 招集完了時刻の20分前から待機できる場所を設ける。（四種競技・棒高跳を除く）
- (3) 招集完了時刻は、下記の通りとする。なお、招集開始時刻は招集完了時刻の10分前とする。

種目	予選	決勝
トラック競技	20分前	20分前
砲丸投	40分前	40分前
走高跳	50分前	40分前
走幅跳	60分前	40分前
棒高跳	100分前	100分前
四種競技トラック種目	20分前	
四種競技フィールド種目	40分前	

(4) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻（招集完了時刻の10分前）に招集所に集合し、完了時刻までに点呼を受ける。その際、競技役員にアスリートビブス（ビブス）とスパイク、衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場する。携帯電話や通信機器（通信機能のあるスマートウォッチを含む）、および音楽再生機器等は持ち込めない。（競技規則TR6.3.2）
 - ②代理人による招集は原則として認めない。ただし、個人種目とリレー種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が当該競技の招集開始時刻までに、所定の用紙に記入し、競技者招集所に提出する。用紙はTICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
 - ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
 - ④四種競技出場者は、(3)及び(4)①に従い、最初の種目では競技者係の点呼、2番目の種目からは招集所において混成競技係の点呼を受ける。
- (5) 競技への出場をやむを得ず棄権する場合は、招集完了時刻10分前までに競技者の所属する各中学校の監督がその旨を欠場届に記入し、競技者招集所に提出する。なお、用紙はTICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
 - (6) 個人種目とリレー種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判の主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、無効試技とみなす。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーンまたは並び順、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技とフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (3) トラック競技について
 - ① 100m, 200m, 400m, 800m, 100mH, 110mH, 4×100mRは予選ラウンドで上位8名(8チーム)の競技者がA決勝に、A決勝進出競技者を除いた上位8名(8チーム)の競技者がB決勝に進出するものとする。
 - ② タイムにより、次のラウンドの進出者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が同記録者の1/1000秒の実時間を判定して進出者を定める。それでも決められない場合、レーンに余裕があるときは、同記録者全員が次のラウンドに進めるようにする。さらにそれが不可能なときは、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。(競技規則 TR21.5)
 - ③ レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンは空ける。
 - ④ 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。(競技規則 TR16.7)
 - ⑤ 四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。(競技規則 TR16.8, および TR39.8.3)
 - ⑥ 「スタート時の不適切行為」に関しては、審判長より警告(イエローカード)を与えられることがある。本大会では、この場合はイエローカード2枚で当該種目のみを失格(レッドカード)とし、それ以後の種目からは除外しない。
 - ⑦ リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻60分前までに競技者招集所に提出する。メンバー変更については、競技規則 TR24.10, TR24.11を適用する。なお、用紙はTICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
 - ⑧ リレー競技においては同一系のユニフォームを着用する。
 - ⑨ リレー競技のマーカーの使用は1ヶ所とする(競技規則 TR24.4)。また、マーカーは主催者が用意し、競技役員が配付する。使用後は競技役員が回収する。
 - ⑩ 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
 - ⑪ 男子3000mの予選はグループスタートとする。また第2グループのスタートラインから10m程度は代用縁石を設置しない。
 - ⑫ トラック競技の全種目について、スタート地点で脱いだ衣類などは指定されたものに入れる。なお、その衣類などはフィニッシュ地点に係員が運搬する。ただし、400m, 800m, リレーの決勝を除く。また、リレー競技については、予選のみ第2走者と第4走者の衣類を、それぞれ第4ゲート、第2ゲートに運搬する。
- (4) フィールド競技について
 - ① フィールド競技の予選は、2ピットで行う(日程及び会場図参照)。ただし、競技場の条件、出場人数によっては、1ピットで行う場合もある。
 - ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ③ 走幅跳、砲丸投において、予選ラウンドではすべての競技者に2回の試技が与えられる。なお、決勝での試技は3回とし、上位8名はさらに3回の試技が与えられる。
 - ④ 走高跳、棒高跳において、予選ラウンドでは連続する2回の失敗試技で競技終了とする。決勝では連続する3回の失敗試技で競技終了とする。
 - ⑤ フィールド競技において、予選通過記録を超える選手が12名に満たない場合は、記録上位12名が決勝進出とする。
 - ⑥ フィールド競技者は、主催者が用意したマーカーを2カ所(砲丸投は1カ所)まで使用することができる(走高跳は曲走路内に限る)。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
 - ⑦ フィールド競技の競技場所は、予選1組はピットA、予選2組はピットBで行う。
- (5) 四種競技について
 - ① 砲丸投は、すべての競技者は3回の試技が与えられる。
 - ② 走高跳は、連続する3回の失敗試技で競技終了とする。
- (6) 競技者に対する助力については、競技規則 TR6.2を適用する。

- (7) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則 TR8 に従って定められた時間内に、各都道府県の代表監督が T I C（担当総務員）を通じて口頭で審判長に申し出る。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添え、T I C（担当総務員）を通じて Jury に文書で申し出る。なお、Jury の裁定が最終決定となる。

5 競技場の入退場について

- (1) 入場はすべて競技役員の誘導による。ただし、棒高跳の出場選手は第4ゲートの競技役員に申し出て、指示を受けて入場する。（棒高跳ポールの運搬に必要な人員も同様）
- (2) 走り終わった者は100mフィニッシュ側の第2ゲートより退場する。ただし、リレー走者は競技役員の指示に従って決められたゲートより退場する。
- (3) リレーについては、予選は第1走者と第4走者は第2ゲートから、第2走者と第3走者は第4ゲートから退場する。
- (4) リレーの決勝については、ゲートプレゼンテーションを行う。すべての走者は第2ゲートから入場し、紹介後それぞれのスタート地点へ移動する。競技終了後、すべての走者は第2ゲートから退場する。
- (5) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場する。ただし、棒高跳びの競技者は第4ゲートから退場することとする。

6 アスリートビブス（ビブス）について

- (1) アスリートビブス・腰ナンバー標識は主催者より配付されたものを使用する。
- (2) アスリートビブスは全競技者に配付し、配付されたままの大きさをユニフォームの胸・背部に確実につける。なお、跳躍種目（四種競技の走高跳含む）の競技者は背部または胸部のみでもよい。トラック競技に出場する競技者は、招集時に腰ナンバー標識（シール式）2枚を配付するので、ランニングパンツ左右の上部やや後方につける（終了後は各自で処理する）
- (3) 四種競技は、最終種目のみ主催者が準備したアスリートビブスを胸につける。このアスリートビブスは、最終種目の点呼時に配付する。なお背面は全競技者に配付されたものをつける。

7 予選通過標準記録について

フィールド競技の予選通過標準記録は次の通りとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
男子				
女子				

上記の種目で予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則 TR25.22 および TR26.8 を適用する。なお、予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

(1) 予選

	練習	競技
男子走高跳		
女子走高跳		
男子棒高跳		

(2) 決勝

	練習	競技
男子走高跳		
女子走高跳		
男子棒高跳		
男子四種 走高跳		
女子四種 走高跳		

- ① 走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、競技規則 TR26.4 の場合は除く。
- ② 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。
- ③ 棒高跳の支柱移動申請用紙は、招集時に棒高跳審判員に提出する。なお、用紙はT I Cに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
- ④ 四種競技の走高跳の高さは2段階に設定し、実施する。

9 用器具について

競技に使用する用器具は、主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用することができる。棒高跳用ポールの保管場所は、「棒高跳びポール及び荷物の輸送等について」を確認すること。

10 競技用シューズの規定について

- (1) 使用するシューズについては、競技規則 TR5.2/TR5.3/TR5.4/TR5.5/TR5.6 を適用する。ただし、フィールド競技用として小売されているシューズについては競技規則 TR5.5 の適用を除外する。
- (2) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

11 表彰について

- (1) 各都道府県又は学校が定めた服装とする。ただし、盗撮防止の観点から競技用ユニフォームは禁止とする。
- (2) 各種目の表彰は、決勝終了後インタビューを経て行うので、A決勝第8位までの入賞者は競技役員への指示に従い、入賞者待機所で待機する。
- (3) 各種目の第1位から第3位までに賞状とメダルを、第4位から第8位までに賞状を授与する。
- (4) 優秀競技者（男子1名・女子1名・男女リレー優勝校）に文部科学大臣賞を授与する。
- (5) 四種競技優勝者（男子1名・女子1名）にウィッシュマン賞を授与する。
- (6) リレー優勝校（男女各1校）には、(2)に加え優勝杯を授与する。優勝杯は持ち回りとする。

12 商標について（詳細は「競技会における広告および展示物に関する規程」による）

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守る。
 - ①上半身の衣類・・・製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積40cm²以内、文字は高さ5cm以内、ロゴ全体は高さ5cm以内とする。製造会社の表示は前面1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。
 - ②下半身の衣類・・・製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積40cm²以内の長方形、文字は高さ5cm以内のものを1ヶ所とする。
 - ③バッグ・・・製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれ高さ5cm以内、面積40cm²とする。
 - ④ソックス・・・製造会社名及びロゴをそれぞれのソックスに1カ所表示することができる。高さ3cm以内、面積6cm²以内とする。
- (2) 選手は招集を受ける前にできるだけテープなどで対応しておく。また、競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

13 その他

- (1) 記録の発表について
記録の掲示は行わない。アナウンス及び大型映像装置で発表後 Web に掲載する。なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。
- (2) 応援について
 - ①競技観戦時はソーシャルディスタンスを確保したうえで、必ずマスクを着用すること。
 - ②競技の妨げになるような応援は禁止する。競技役員への指示に必ず従うこと。
 - ③新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、声を出しての応援は禁止とする。また、集団での活動、発声、応援および近距離での会話を避けること。
 - ④バックスタンドや芝生スタンドにおいても、フィールド競技進行中は、トラック競技に対する集団応援や、メガホンなどを使用した応援は禁止する。
 - ⑤跳躍競技の手拍子については、トップ8確定以降で、他の競技の進行の妨げにならない場合のみとする。また、四種競技では原則行わないこととする。

- (3) のぼり旗・応援横幕の設置は、設置要項に従い、競技場内の看板・掲示物を隠さないように設置すること。
- (4) メイン競技場メインスタンドでは集団での場所取り、個人の長時間の場所取りは禁止する。
また、緊急時の避難通路確保のため、許可された場所以外へのテント等の設置を禁止する。なお、安全確保上の注意に従わない場合はイエローカードの対象とし、2回目はレッドカードとする。
(本項以外でも安全確保に関しては同様とし、レッドカードは本大会より退場となる)
- (5) 棒高跳ポールの返送については、棒高跳競技終了後、補助陸上競技場入口付近ポール輸送ブースにて受付をする。
- (6) ゴミ箱は設置しない。ゴミは各自の持ち帰りを原則とする。近隣地域のゴミ集積所や店舗、駅などに捨てないこと。
- (7) 提出書類・記録証明書などの提出場所、受け付けは次の通りとする。

	提出書類	提出・受け付け【担当】	提出時刻
①	欠場届	競技者招集所	招集完了時刻の10分前まで
②	2種目同時出場届	同上	当該競技の招集開始時刻まで
③	リレーオーダー用紙	同上	各ラウンドの第1組の招集完了60分前まで
④	リレーオーダー変更用紙 (医務証明書)	同上	招集完了時刻まで(医務員の判断による場合のみ)
⑤	棒高跳支柱移動申請用紙	競技場所【棒高跳審判員】	招集完了時刻まで
⑥	抗議	T I C【担当総務員】 ・口頭で申し出る	結果の正式発表後30分以内。同一日につきのラウンドが行われる競技では15分以内
⑦	上訴申立	T I C【担当総務員】 ・文書・預託金1万円	審判長の裁定後30分以内。同一日に次のラウンドが行われる競技では15分以内
⑧	記録証明書交付願	T I C ・交付料500円	記録発表後30分から全競技終了15分前まで
⑨	成績記録集申込書	T I C ・交付料1,000円送料含	全競技開始時刻から全競技終了後15分後まで(後日大会本部より送付)
⑩	質問	T I C【総務員】	

- (8) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影については以下の事項等を禁止とする。
- ・保護者及び本人の同意のない撮影。
 - ・撮影を禁止された区域での撮影。
 - ・競技者がスターティングブロックの足合わせをしているときの撮影。
 - ・試技を待っている間や、身体を動かしているときの撮影。